

## 中小企業の業況は、大幅な低下状況にある。

山口商工会議所では、管内中小企業97社を対象に景況調査を実施し、このほど令和2年1月～令和2年3月期実績と令和2年4～6月期見通しについての調査結果(回答数80社、回答率82.4%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期の▲26%から▲31%と僅かに低下した。業種別にみると、製造業は▲8%から▲23%と大幅に低下しているが、来期は再び▲8%と大幅に上昇の見通しである。建設業は8%から▲8%と低下しており、来期も▲9%と僅かに低下の見通しである。小売業は▲38%から▲42%と低下しているが、来期は▲30%と大きくマイナス幅が縮小する見通しである。サービス業は▲25%から▲24%と僅かに上昇しており、来期についても変わらない見通しである。

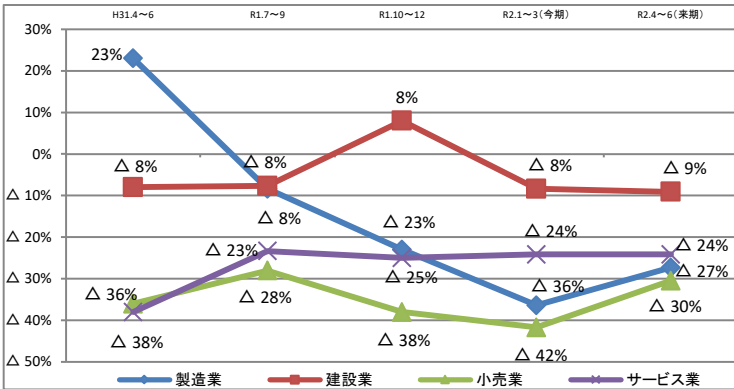
今回調査では、建設業を除く業種で売上の大幅な低下が見られ、前回低下傾向であった従業員数の上昇傾向が見られた。製造業、建設業では仕入単価、経常利益に低下傾向が見られた。

新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の12%、来期設備投資を実施予定の企業は4%であった。経営上の問題点については、小売業では上位1位・2位・3位どれも変わらず前回と同様であった。また、建設業、サービス業では上位1位、2位が同率で挙がる結果となった。

### ◆業況DI値（今期の状況）

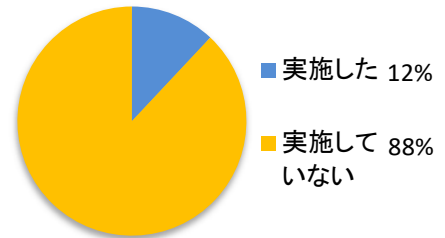
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△ 31%	→	△ 35%	→	△ 14%	↗	31%	→	△ 29%	→	△ 3%	↗
製造業	△ 36%	→	△ 33%	→	△ 25%	→	75%	→	△ 25%	→	27%	↗
建設業	△ 8%	→	0%	→	8%	↗	33%	→	△ 17%	→	△ 8%	↗
小売業	△ 42%	→	△ 48%	→	△ 20%	↗	8%	→	△ 38%	↗	△ 4%	→
サービス業	△ 24%	↗	△ 34%	→	△ 12%	↗	26%	↗	△ 24%	→	△ 7%	↗

### ◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）

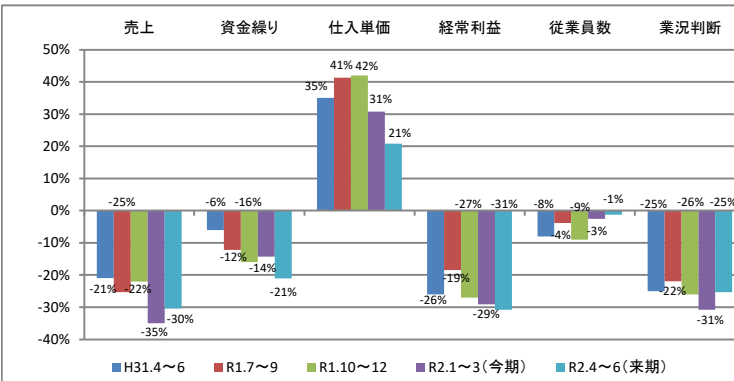


### ◆新規設備投資（今期実施・来期計画）

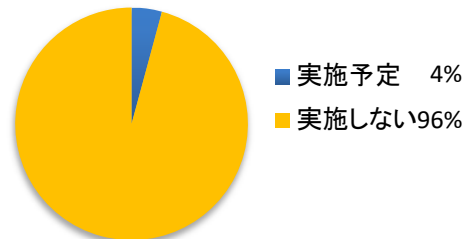
#### 【今期設備投資】



### ◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



#### 【来期設備投資計画】



### ◆経営上の問題点

	製造業		建設業		小売業		サービス業	
1位	需要の停滞	34.5%	民間需要の停滞	18.8%	需要の停滞	22.2%	需要の停滞	13.8%
2位	生産設備の不足・老朽化	17.2%	材料価格の上昇	18.8%	消費者ニーズの変化への対応	12.7%	利用者ニーズの変化への対応	13.8%
3位	原材料価格の上昇	13.8%	官公需要の停滞	15.6%	購買力の他地域への流出	9.5%	従業員の確保難	9.2%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。